

時實真祐さん

TOKIZANE MAYU

株式会社富士クリーン
リサイクル部



地域のため、地球環境のため… 私が本当にやりたいことを見つけた



▶ 将来の選択肢を広げたくて理系へ

学生時代の私は文系科目も数学も得意なタイプ。理系を選んだのは、「もっと深く知りたい」と思ったのが生物分野だったことと、文・理どちらの道も選べたら仕事の幅も広がるだろうと思ったからです。大学で環境デザイン学を学び、国内外のまちづくりや環境問題に触れて「廃棄物に困る人たちは地域にもいる。地域の安全や地球環境を守るため、私にできることはないか」と考えていた矢先、3年次のインターンシップで当社の業務を体験し、本当にやりたいことに出会えた！と直感しました。

▶ 1年目からさまざまな活躍の場が

当社の事業は、家庭や企業などから持ち込まれた廃棄物を適切に処理して、新しいエネルギーや資源リサイクルにつなげていくこと。私の業務は廃棄物の搬入受付と計量、どういう中身でどんな処理が必要かを分類する事務作業です。専門知識を深めるかわら、環境学習やイベントなど社外交流を担当することも。2023年には香川大学のイベントに参加し、入社1年目にもかかわらず中高生向けにバイオマスプラントの説明やディスカッションを主宰するチャンスいただきました。

▶ 女性のやる気を尊重してくれる社風

リサイクル部は会社全体を俯瞰しやすい部門で、業務を理解するにつれて現場をもっと知りたい思いも芽生えてきました。重機を扱う女性オペレーターもいて、現場に立ちたい女性の思いを尊重してくれる会社です。本当は男性と同じように働きたいけれど力仕事もあり、どこまで任せるか細かく配慮してくれる周囲の気遣いも感じます。大切なのは自分で自分の限界を決めないこと！今はできることを着実に増やしていきたいですね。

Profile

岡山県生まれ。愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科で学び、大学3年次にインターンシップや2週間のインドネシア滞在などで視野を広げる。2022年、インターンシップをきっかけに株式会社富士クリーンに入社し現在に至る。

▶ 休日はアクティブに動く派

外で体を動かすことと食べることが大好き！特にパンに目がなくて、旅行に行ったりすると車を走らせてパン屋巡りを楽しみます。



中高生への Message

たとえ男性が多い環境であっても、自分なりに周囲に認められる個性を発揮しようと努力を続ければ、自然と男女関係なく働きやすい居場所が整ってくると、私自身が実感しています。大学選びも仕事選びも、分野にとらわれず「自分の専門知識やスキルが最大限生かせる場所」を見つけてほしいですね。理系の女性はまだまだ少ないけれど、自分が本当にやりたいと思えることに出会ったら、諦めず強い意思を持って挑戦してください！

株式会社富士クリーン

1975年設立。綾川町を拠点に一般・産業廃棄物の処理やリサイクルを主業とするかわら、2018年に日本初となる「廃棄物からバイオガスをつくるプラント」を稼働するなど、環境ビジネスも積極的に展開している。